

ともだち (1974)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

時間 86分

初公開日 1974/07/24

【解説】

日活の児童映画で、脚本は勝目貴久、監督は澤田幸弘が担当。撮影は畠中照夫が務めた。少年と病弱な少女を取り巻く日常を、かけがえのない友情を軸に描いた一作。

京浜工業地帯の町に住む松村新太は、サッカー選手を夢見ている小学6年生。ある日、席替えで斎藤良子と隣になる。良子は岩手から引っ越してきた後にこの町で喘息を患ってしまい、そのために周囲から仲間はずれにされていた。新太も初めは嫌がっていたが、担任からの期待もあり、次第に良子と仲良くなっていく。ところが、新太の両親は良子が病気持ちと言うことで良子との付き合いを拒絶し、新太は親の理解の無さにショックを受ける。その後盲腸で入院した新太に対し、良子が見せた健気な振る舞いに新太の両親も心を打たれてゆく。だが、2人の友情には悲しい結末が待っていた。

【クレジット】

監督 沢田幸弘

製作 結城良熙

福田慶治

企画 日活児童映画室

脚本 勝目貴久

撮影 畠中照夫

美術 徳田博

編集 鈴木暁

音楽 小杉太一郎

助監督 岡本孝二

出演	阿部仁志	新太
	鈴木典子	良子
	松田優作	小松
	高原駿雄	良子の父
	石井富子	良子の母
	下川辰平	正吉
	斎藤建夫	一夫
	石井聖孝	道郎
	古賀真佐代	綾子
	橘田良江	綾子の母
	高山千草	水島先生
	五條博	医者
	牟田悌三	新太の父
	谷口香	新太の母

